

2023 年度上野千鶴子基金助成金最終報告書

1. 助成対象事業	SDGs の諸課題解決に向けた活動
2. 事業の区分	一般プロジェクト
3. 氏名/団体名	一般社団法人 Colabo
4. 事業名	夜の新宿歌舞伎町における少女・女性たちへのアウトリーチ
5. 助成額	
6. 事業実施期間	2023 年 9 月 1 日～2024 年 5 月 31 日

7. 事業の目的

当団体は、10 代を中心とする女性を支える活動を行っている。

特に、虐待や生活困窮などを背景に家に居られないとき、街で声をかけられたり、SNS を通して知り合うなどした相手から買春や性犯罪の被害に遭った少女と多く関わっている。児童福祉につながった経験を持ちながら、適切に対応されなかったことから大人への不信感を持つ少女たちとも多く出会っている。安心して過ごせる場所を持たないまま生き抜こうとする中で、少女たちが性被害や性搾取の被害に遭っている現状がある。

当事業では、夜の街をさまよう少女や女性たちを探し、声をかけ、つながり、必要な物品や食事を提供するなかで、少女たちと繋がり、信頼関係を築きながら、安心して過ごせる場所を提供する。

8. 実施内容

夜の繁華街で声掛けの活動（アウトリーチ活動）を行い、行くところがないときに休めるところや、泊まる場所がないときに泊まれる場所があること、婦人科の受診や脱性売買のために力になれることなどを案内した。月 2 回程度、夜の新宿・歌舞伎町で開催しているバスカフェ（10 代少女向け無料カフェ）も案内し、食事や食品（パックご飯やレトルト、カップ麺、お菓子など簡単に調理できるものが中心）や衣類、日用品（生理用品、シャンプーなど）、コスメ（化粧水、メイク用品など）などを提供した。また必要に応じて、婦人科や精神科への受診、弁護士への相談や役所への同行などの活動に繋いだ。緊急の保護が必要などの場合には、一時シェルターで保護を行い安心して過ごせる場所を提供した。

9. 事業の成果と自己評価

近年、少女たちを取り巻く環境は年々悪化してきている。コロナが落ち着いてきた状況とは対照的に、街には性搾取を目的とした業者やスカウトがあふれ、被害に遭う少女たちが後を絶たない。買春目的で国内外から集まってきている観光客もよく見られるようになった。街では日々、買春者や性売買業者、ホストやメンズコンカフェのキャッチなど搾取を目的にしている人が少女たちに声をかけている状況がある。困っている少女たちが支援につながる前に危険に取り込まれている。

本事業でも、ネットカフェやホテルなど場所を転々としながら、なんとか日々を過ごす中で性的に搾取され被害に遭っている少女や、ホストやメンズコンカフェ、メンズ地下アイドルといった店で多額のお金を要求され、「払えないなら…」と性売買に誘導され被害に遭った少女とも多く出会った。10 代前半などこれまで以上に低年齢の少女たちまでもが狙われ、性搾取に取り込まれている現状もある。

つながった少女・女性たちの状況に合わせ、必要であればシェルターでの保護や、病院・警察・弁護士

などにつながりなどした。一日だけでも体を休め落ち着ける場所があることで、自分の状況や状態に向き合ったり考えることができるようになる。これからも必要な物や情報を提供しながらつながり続け、何かあった時に思い浮かぶ顔となり、生活を変えたいと思った時に一緒に動ける存在でありたいと思っている。

今回、上野千鶴子基金の助成によりアウトリーチ活動を支えていただけたことは大変心強かった。日本社会では性搾取・性売買を温存するための構造が強大だが、少女や女性たちが性売買しなくても生きていけるような社会にするため、気づき、大人として何ができるのか一緒に考え、行動する大人を増やしていきたい。

10. 成果物

- ・動画での発信：計 13 本（活動の様子や夜の街の現状、性搾取の実態を訴える動画を製作し発信を行った）
- ・2023 年活動報告書